



燃える黒陵

がむしゃらに勉強し、進路達成に燃える黒陵生
ひたむきに技と心を磨き、部活動に燃える黒陵生
伝統を誇り、遠大の志を持って青春を燃やせ！

黒陵通信 2016年 第5号

平成28年9月30日

岩手県立黒沢尻北高等学校 校長 菊池浩

2016-NO. 5

秋季高校野球 地区第一代表となる

県大会は惜しくも1回戦敗退 SPIRITSを育め！

高校野球秋の大会(新人戦)が行われた。北奥地区予選では黒沢尻工業に5対3、専大北上に3対2で勝利し第一代表となった。48年ぶりの快挙であった。県大会1回戦は花巻球場で盛岡市立高校と対戦。2点先行され9回表に3点を返し逆転したものの、その裏に同点とされ、勝ちきることができず、11回裏3対4のさよなら負けを喫した。帰校後、校長から野球部諸君に「この悔しさを忘れるな！」・「Spiritsを持って！」と以下の話をした。

勝つための要素はSpeed, Stamina, Strength, Skillなど4Sと言われるが、もっと大きなSは「Spirits」だ。「絶対負けないという闘争心」「こころ一番勝ちきるといふ集中心」「向上心・研究心」「感謝の心」「野球を愛する心」などの精神だ。日々その心を持っているか、その心で練習しているかで勝敗が決まる。黒陵Spiritsを持って精進して欲しい。甲子園出場は2万黒陵OBの悲願である。

黒陵祭(8/28)

来場者数 1909名 ありがとうございました。

毎年2日間の公開とされていたが、今年度は生徒達がじっくりと校内発表を見ることができるようにと、日曜日1日だけの公開とした。



音楽部のコンサートは自分たちの仲間でありながら、あまり鑑賞する機会がなかったが、素晴らしいハーモニーに感動の拍手が贈られた。



野球部の「オム焼きそば」はB級グルメ大会グランプリに匹敵する程の美味。長蛇の列ができていた。サッカー部の玉こんにやく、弓道部の唐揚げも人気であった。



例年、食べるスペースが狭いと苦情が出ていた食堂は2教室を増やしゆっくりと食べられるようにした。メニューは全て教員と生徒の手作り。バスケット部が作る冷やしうどんは出汁に愛情をこめ、上品な味わい。



小松先生がタマネギを炒め、黒陵魂を注入したカラーライス。専門店にも劣らない本格的なもので、300円は安すぎ！年を経るにつれ小松先生の腕は上がっている。将来は店を開くとか・・・



夏休みにドイツスポーツ交流団に日本の茶道文化を伝えた茶道部のお点前は見事。来場者も至福の一品を味わっていた。普段は勉強に忙しい黒陵生だが、文化部の発表に心をフレッシュした黒陵祭であった。

もちろん来場者への挨拶、笑顔での対応は忘れなかった。

いわて国体 県代表に本校から22名選出！

陸上・ソフトテニス・ラグビー 10/2 熱戦スタート

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体・いわて大会」が始まる。国体総合開会式は10月1日、閉会式は11日(北上市総合運動公園陸上競技場)障がい者スポーツ大会開会式は10月22日、閉会式は24日。その高校生アナウンサーに3年2組高橋礼子が選ばれた。競技は10月2日から始まるが、本校生徒22名が岩手代表選手として出場する。北上市では陸上、新体操、ソフトテニス、バドミントンの4競技が行われる。大会運営の補助員として教員、生徒約120名が参加する。



↑9/26 校内で壮行式を行った ↑高橋礼子(開会式アナウンス)

《陸上競技》10/6~10/10(北上総合運動公園)
並岡真生(3年2組) 新田英理子(2年1組) 2名とも棒高跳び
《ソフトテニス》10/2~10/5(和賀川グリーンパーク)
男子: 鈴木雄大(3年4組・岩手少年チームの主将を務める)
小野寺瑛司(3年1組) 及川太希(3年5組) 及川憂斗(2年1組)
小田島圭(2年1組) 大粒末徳浩(2年1組)
女子: 佐藤花音(2年3組) 清水あい(2年3組)
《ラグビー》少年15人制: 10/3~10/7(八幡平市ラグビー場)
高橋怜雅(3年1組・岩手チームの主将を務める)
齊藤大智(3年1組) 藤原壮大(3年1組) 川内健輔(3年2組)
前川士優(3年2組) 菅原楓太(3年4組) 赤川憲昭(3年6組)
小田島和希(2年1組) 大沢陸大(2年2組) 道下海(2年2組)
粕加屋風汰(2年5組)

女子7人制: 10/4~10/7(釜石市球技場) 後藤璃乃(3年6組)

【国体への決意】全岩手主将 高橋 怜雅

ラグビー少年は10月3日から八幡平ラグビー場で行われます。1回戦は愛知県と対戦します。愛知とは昨年の和歌山国体でもベスト4を賭けて対戦し惜しくも敗れています。その雪辱を果たすようこれまで積み重ねてきた全てを出し切りたいと思います。岩手チームには黒北から11人が登録されていてチームワークもいっているので、持ち前の魂のタックルと組織プレーで上位を狙います。私は主将としてチームを引っ張り、ひたむきに前に出るプレーをしたいと思います。皆さんの応援も私たちの背中を押してください。

また、釜石で行われる女子ラグビーの部にはチームメイトの後藤璃乃が出場します。彼女も持ち前の前に出るランニングとタックルを見せてくれると思います。少年、女子の部ともに岩手の誇りを胸に戦いますので熱い応援をよろしくお願いします。

【いわて国体アナウンスに向けて】放送部・高橋礼子

私は今回高校生アナウンサーとして、国体・障害者大会の開閉会式で式典アナウンスをさせていただきます。昨年10月、「県内3人が高校生アナウンサーとして選ばれる」と新聞で発表された時から、私はそれを目標に部活動をしてきました。今年6月に行われたNHK杯ではアナウンス部門で念願の全国大会に出場し、その結果高校生アナウンサーに選ばれることができました。

いわて国体は「復興の架け橋」を冠称としています。5年前の東日本大震災から復興が進んだ岩手の様子を全国にアピールする良い機会です。式典でも復興に関わったパフォーマンスが繰り広げられ、皆さんの心に響く内容となっています。岩手に住む私たちと、支援してくださった全国の皆さんとの架け橋となれるよう、アナウンスを通して岩手に貢献したいです。このようなチャンスはもう2度と無いので、最高のパフォーマンスで選手の皆さんを後押しし、国体を成功に導けるよう頑張ります。

*黒陵通信は毎月月末に発刊予定です。学校HPに掲載します。